



2007~2008年度
国際ロータリーのテーマ
RCは分かちあいの心
2007~2008年度
ウィルフレッド J. ウィルキンソン

Weekly Report

創立：1980年(昭和55年)11月10日
会長：岩本 成郎
幹事：西本 哲
クラブ広報委員長：亀井 直人
例会日：毎週木曜日 PM12:30~
会場：ヒルトン名古屋
事務局：460-0008
名古屋市中区栄1丁目3-3
ヒルトン名古屋910号
TEL：052-211-3803
FAX：052-211-2623
MAIL：2760nagoya@mizuho-rc.jp
URL：http://www.mizuho-rc.jp/

第1368回例会

~ロータリー親睦活動月間~
クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2008年6月12日(木) 晴 第44回

司会：馬場将嘉会場委員
斉唱：「我等の生業」
ゲスト：株式会社北見式賃金研究所所長 北見昌朗さん
ビジター：名古屋南RC 足立捷佑さん

会長挨拶

岩本成郎会長

一金平糖 匠の技

コンペイトーはポルトガルの「confeito」が語源。コンフェイトとは砂糖で包まれた菓子を意味しています。金平糖は時間と愛情をかけて仕上げた熟練の職人技の結晶です。金平糖作りにはレシピがありません。日本でただ一軒の金平糖の専門店である1847年創業の老舗「緑寿庵清水」の四代目清水誠一さんのお話によると、金平糖は1546年にポルトガルの宣教師が織田信長に献上したと言われ、その製法は「日本永代蔵」にも見られますが、当時は貴重品とされ製法は一切秘密にされていました。ザザーッと、ザザーッと釜の中で金平糖が流れ落ちる音が工房に響きわたります。大きなコテで金平糖を引き寄せます。金平糖は一粒の核が一粒の金平糖になるように蜜をかけては乾燥させる作業を繰り返します。その日の気温や湿度・湿度によって変化する金平糖の結晶具合を見極め、五感を使って蜜の濃さや釜の温度や斜形を調整する。まさに体で覚える技術であり、マニュアルやレシピのない金平糖は10分も放っておくと割れたり分離したりして液体状になってしまい再生ができません。夏場には50度にもなる工房内で、片時も釜のそばから離れることができず集中がいります。しかしこの作業を1日繰り返しても、1日1ミリしか大きくなりやうと三日目にイガが出始め、約8日目にイガが出揃い二週間ほどでやうと砂糖味の金平糖が完成。そんな金平糖と同じように、金平糖づくりの技術を身につけるには20年もの長い時間を要すると言われてい



御礼の手紙

福岡西ロータリークラブ 荒木 博会長

4月に来訪された福岡西RCの荒木博会長より御礼の手紙が届きましたので、ご紹介させていただきます。

拝啓 新緑の爽やかな季節を迎えまして、本当に心地良い日々をお過ごしのことと思います。

此の度は大変遅くなって申し訳なく思っておりますが、先月4月24日、25日に貴クラブにご訪問し、大変に暖かくおもてなし頂きましたことの御礼を申し上げたいと思います。24日は夜間例会に参加させて頂き、ローターアクトの皆さんの活躍の様子を見せて頂きました。その夜のおもてなしは夜遅くまでお世

話頂きましたし、また、西クラブに勝手を譲って頂きまして、その上お土産まで頂戴し、本当に有難うございました。この次は、ぜひ西ロータリーにお出かけ戴きたくご案内申し上げます。

我々西ロータリーも、私の年度も終わりに近づきました。私共ロータリーは、今年一年"会員増強について考える""職業奉仕について考える"そして"社会奉仕について考える"の三つのテーマで各テーブル毎の会で意見を交わしましてそれをレポートにまとめ、例会に発表する事になりました。そのレポートをご訪問の御礼を込めてお送り致したいと思います。今回は"社会奉仕について考える"はまだ出来上がっておりませんので、お送りすることができませんが、これも後程お送り致します。どうぞ我々のロータリー活動の様子を御覧ください。

今後とも引き続きよろしくお願ひ申し上げまして、御礼のお手紙に致します。 敬具

出席報告

岩田修司出席委員

会員72名 出席50名 (出席計算人数52名)

出席率79.4% 6月 5日は補填により 89.2%

臨時例会変更のお知らせ

名古屋西		6/19(木)	6/26(木)※	
名古屋北		6/20(金)		
名古屋守山		6/18(水)		
名古屋東南			6/25(水)	
名古屋中		6/16(月)※		6/30(月)
名古屋和合	6/11(水)			
名古屋名東		6/17(火)	6/24(火)※	
名古屋名北		6/18(水)※	6/25(水)	
名古屋千種		6/17(火)※	6/24(火)	
名古屋大須	6/12(木)※		6/26(木)	
名古屋名南		6/17(火)※		
名古屋名駅			6/25(水)	
名古屋昭和				6/30(月)
名古屋西南			6/26(木)	
名古屋錦			6/24(火)	
名古屋葵	6/12(木)※	6/19(木)※		
あま		6/16(月)※		
名古屋空港	6/9(月)※			6/30(月)
尾張中央		6/18(水)		
名古屋城北			6/24(火)	
名古屋清須	6/10(火)			

(注) ※は休会・その他理由につきビジター受付はありません。

幹事報告

西本 哲幹事

・本日、例会終了後13時35分より6階「けやきの間」において次年度予定者会議を開催致します。

信玄・謙信に学ぶ事業承継



私の本業は中小企業の社員の給与をどう決めるかということが専門なのですが、その傍ら日本史好きが高じて「歴史に学ぶ経営」というジャンルで本を4冊ほど出版しております。今日はその話をさせていただきます。

そもそも武田家や上杉謙信がなぜ事業承継なのかという違和感がありかもしれません。戦国大名にも色々ありますが、死とともに家が没落・衰退していった人の中には武田信玄と上杉謙信がいます。この偉大な大名のどこがいけなくて没落していったのかを考え、今の時代のオーナーの方々にとって他山の石になればと思います。

武田家についてですが、一般的に信虎、信玄、勝頼のことを「武田三代」といいます。武田家を潰した要因として一般的には信長のハイテクな攻撃に武田家のローテクが負けてしまったと言われていますが、そうではありません。実は既に戦う前から内部崩壊をしていたのです。武田家を潰した要因は不和です。「親子」「男女」「家臣との関係」など色々な不和の連鎖が因縁のようにありました。信玄が信虎を追放したのはまだ20歳の頃で、自分でプランニングをするほどの力量があったとは思えません。重臣たちが信玄を担ぎ上げ、ワンマン社長の信虎を追放しました。また、信玄と正妻の息子、義信は大事にされすぎてわがままに育っていき、信玄とさまざまな対立が起こっていきました。そして結局義信は自害します。これがきっかけで武田家の滅亡が始まったと言われています。本来の後継者がいなくなり、家督は信玄の臨終の席で勝頼に継がせました。死と共に家督相続をさせたのは最大の失敗であったと私は思います。勝頼が家督を継いだものの家臣からは全く信頼を得られず、長篠合戦で信長の攻撃に勝つと思っていたのは自分だけで誰もそうは思っていなかったのです。攻撃を受けるときにはすでに内部は崩壊しており、この数年後には武田家はこの世からなくなりました。この信玄の失敗から学ぶこととして、継がせる側の教訓をいくつか本の中にまとめてみました。先ずオーナーに申し上げたいのは、家督相続(社長交代)を何歳でするのかという年齢を決めた方がいいのではないのでしょうかということです。私の独断と偏見ですが「社長65歳引退説」ということを考えています。肉体年齢が健康なことも大切ですが、65歳という年齢になると同世代の友人たちは大手にいる場合すでに引退しており、情報が入ってこなくなります。本人は気づかないのですが、実際は情報の断絶ということになります。これが一番大きな要因ですが、何歳で後身に道を譲るかを決めた方がいいのではと思います。そして、任せるとなったら全て任せてしまわないと後継者は育ちません。ということで「会長さん元気で留守がいい」です。望まれることは会社に行かないこと、役員会も出ないこと、ものはいわない・見ない・聞かないことです。早め早めに行動することが続ける要点であると思います。武田三代が潰れた要因から学ぶオーナー会社の事業承継の教訓です。ご静聴ありがとうございました。

- ・次週6月19日は第5回クラブフォーラムです。次年度行事予定の審議をお願いします。又、1年間の総括をかねて反省会を致します。各委員長さんは事前の準備をお願い致します。
- ・次週、例会終了後13時35分より6階「けやきの間」にて第4回分区大会実行委員会を開催致します。
- ・新入会員の大嶽達郎さんの会員名簿用シールがメールボックスに入っています。名簿の余白欄に添付しておいてください。

お知らせ

- ・2008年7月より「名古屋西南RC」が「名古屋丸の内RC」に名称変更します。
- ・名古屋千種RCの例会場が「愛知厚生年金会館」から「名古屋東急ホテル」へ変更になります。

ニコボックス

岩田修司ニコボックス委員

- ・6月11日は誕生日でした。孫からの電話がうれしかったです。
- 遠山 堯郎さん**
- ・6月5日は妻の誕生日でした。きれいなお花をありがとうございました。
- 入江 理さん**
- ・しばらくお休みが続きましたので。
- 佐藤 一郎さん**
- ・6月27日は私共の結婚記念日です。
- 岩田 吉廣さん**
- ・昭和13年6月父が「田中医院」を開院して70周年になります。

田中 隆義さん

- ・じめじめした梅雨ですがそれは春と夏のあいだに特殊な風情のある季節を作っている。こんな表現がありました。

岩本 成郎さん

- ・釣りシーズンに入りました。第一週は50cm真鯛、第二週は70cmワラサ。数は不満ですがマズマズのスタートです。

岡本 達人さん

- ・紫陽花の美しい季節となりました。
- 守谷 巖樹さん**
- ・本多さんありがとうございました。一昨日ホテルが2匹出ました。待ちくたびれました。
- 松井 善則さん**

委員会報告

国際奉仕委員会:平野好道委員長

先月、台北延平RCへのホームステイのお知らせを致しましたがまだ人数に余裕がございますので、ご希望の方は早めにご応募ください。

環境保全委員会:松岡道弘委員長

本日皆様のお手元にお配りいたしましたご案内の中に、6月21日と7月7日、「親子サミット」の初日の午後8時から10時まで全国のライトアップ施設の電気を一斉に消すという呼びかけがございます。この主旨を御理解いただき、各ご家庭でもぜひ参加していただきたいと思っております。

ガバナー賞受賞

瑞穂グランドホテルで行われた地区役員会長幹事懇親会において、RI第2760地区江崎柳節ガバナーより、ガバナー賞をいただきました。

会員増強推薦者バッジ贈呈



新入会員 大嶽達郎さんを推薦した松波恒彦さんと岩田修司さんに地区ガバナーより会員増強推薦者バッジが贈られました。

今週行事

6月19日(木)

テ - マ: 第5回クラブフォーラム(次年度行事予定)

次週行事

6月26日(木)

テ - マ: 下期納会 18:00~20:00

場 所: 松楓閣